

## 学校給食センターの建設に係る財政支援の拡充について

【担当省庁】文部科学省

### 宇陀市における取組

#### （現状）

宇陀市においては、現在、学校給食センター1施設を所有しており、安全・安心な給食の提供はもとより、食育並びに地産地消を推進し、まち・ひと・しごと創生総合戦略に設定した地消率の数値目標(35%)の達成に向けて取り組んでいる。

また、栄養士と調理員の資質向上を図りつつ、全国学校給食甲子園に5回出場し準優勝の栄誉も頂いている。

#### （課題）

現有の施設は、昭和50年に建設されたもので、築47年が経過し老朽化が進んでいるので、平成30年に「新学校給食センター基本計画」を策定し、建て替えに向けて進めているが、建設に係る国庫補助が少なく、事業規模の小さい自治体においては、建設単価や維持管理費も割高となり、財政的にも厳しい環境にある。

### 国にお願いすること

現在の学校給食施設における施設基準では、児童数に対して基準面積が定められている。しかしながら実情は、安全・安心な給食を提供するために「学校給食衛生管理基準」で求められる基準を満たすことができない状況にあり、また、建築単価や附帯施設の基準金額についても、現状と乖離している。そのため、以下のことについて要望する。

1. 学校施設環境改善交付金の補助対象となる児童数に対する基準面積の拡充。
2. 共同調理場の建築単価や附帯施設の基準金額の拡充。

#### （参考）



全国学校給食甲子園での献立



記念撮影（受賞記念）